

川上ダム通信

2016
6
月号



Vol. 129
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

川上ダムの平成29年度着工を強く要望 ～伊賀市・市議会の皆様が水機構本社を訪問～



提言書を説明する清水建設部長

5月18日(水)に、伊賀市議会から北出忠良議長、中岡久徳議員(産業建設常任委員長)および岩田佐俊議員(川上ダムの早期完成を推進する議員連盟会長)、伊賀市から北山太加視水道事業管理者、谷口昌平水道部長、清水仁敏建設部長、小西康章公共基盤推進課長の7名の方が、水資源機構本社へ『川上ダム事業に関する提言書』を携えて来訪されました。水機構側からは、水機構を代表して^{こうむらけんゆう}甲村謙友理事長をはじめ経営企画担当理事、ダム事業担当理事、部長等6名が出席しました。

冒頭、清水建設部長より提言書の趣旨を説明され、

①平成29年度本体着工と事業工期内完成、②事業推進のために必要な予算の確保、③現事業費における更なるコスト縮減の3点を強く要望されました。懇談の中では、議長をはじめとして出席された皆様より、頻発する洪水に対する市民の安全・安心の向上や伊賀市の将来ビジョンに不可欠な安定水源の確保の観点などから、川上ダム本体の早期着工・早期完成を願う多くのご意見をいただきました。また、「地元で協力いただいた方が多くが高齢になっており、本体着手を是非見たいとも言われている。」という切実な声もお聞きしました。

理事長は、「検証後2年近く経っているが水機構は何をしているのかとお叱りを受けるかもしれないが、早期に着手できるよう進めていく。」「付替県道も今年度概成し、残すはダム本体のみ。平成34年度完成に向け必要な予算確保に努めていく。コスト縮減にも取り組んでいく。」「地元からの応援はたいへん心強い。」とお応えしました。

このような皆様の生の声に接し、理事長以下、川上ダムの早期本体着工及び完成を強く胸に刻んだ次第です。当建設所としましてもご要望に応えることができるよう、一日も早い川上ダムの完成を目指して全力で事業に取り組んでまいります。【所長 加納茂紀】



お応えする甲村理事長

付替県道青山美杉線工事～工法のお話～

現在行っている、付替県道青山美杉線工事（長さ約350m）について、今回は土を直立して盛り上げて道路を作る区間で採用している工事方法を説明します。

土を直立して盛り上げる作業は、コンクリート製の小さな壁を一つ一つ積み上げながら、この壁の裏側に良質な土砂を入れて念入りに締め固める作業を行います。この作業を上に向かって何回も繰り返して直立に盛り上げていきます。コンクリート壁には長い鋼鉄製の帯（表面に凸凹のついている）が接続されており、土砂がこの帯をサンドイッチ状に挟み込むことで摩擦力が発揮され、コンクリート壁を直立した頑丈な壁としています。

この工法は、「^{ほきょうどへきこうほう}補強土壁工法」と呼びますが、土砂だけで道路を盛り上げる方法に比べると、狭い敷地内で道路を盛り上げて作ることができます。



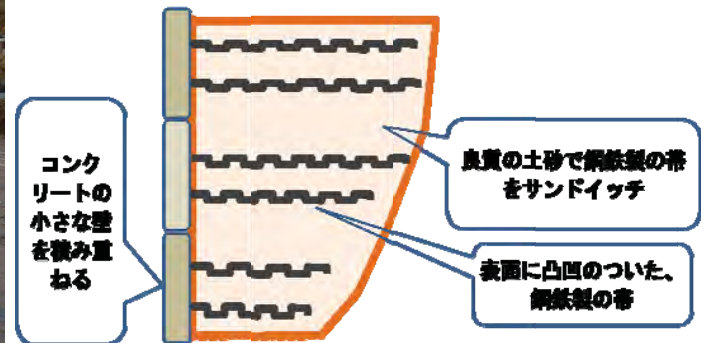
コンクリート製の壁の設置状況



コンクリート製の壁の裏側を良質な土砂で埋める



鋼鉄製の帯の設置状況



鋼鉄製の帯が壁を直立に保ちます

★この工法はこちらの区間で行っています★



平成28年5月撮影



【工事課 濱口 浩】

菜の花まつり～伊賀市阿保西部区～



揺れる菜の花（阿保地区 4月撮影）



伊賀市では、「菜の花プロジェクト」として、遊休農地を利用して菜の花栽培を行い、菜種油が製造されています。その一環として、5月1日（日）、伊賀市阿保西部区主催の「菜の花まつり」が当建設所敷地内にて開催されました。当日はこの菜種油のほか、青山小学校児童の考案による菜の花クッキーやちらし寿司などが販売されました。その隣では地元のお母さん方が菜種油でアツアツのドーナツを揚げており、おいしいものがたくさん！地元の方による音楽会の後は杵でついたばかりのお餅が皆にふるまわれました。あんころ餅など3種類の餅が入っていて、とてもおいしかったです！木工コーナーもあり楽しい1日でした。【総務課 谷村正子】

木工教室



つきたてのお餅♪

忍者がいっぱい！伊賀上野NINJAフェスタ

子供のころ、一度は忍者になってみたいと思ったことはありませんか？壁をすいすい登ったり、屋根の上を影のように走ったり。そんな夢をかなえてくれる一大イベント、伊賀忍者フェスタに行ってきました！（4月2日（土）から5月5日（木）まで。伊賀上野NINJA フェスタ実行委員会主催。）駅のプラットホーム、電柱の影。



いざ、変身処へ！

町中では様々なところに忍者が潜んでいます。全部見つけると豪華賞品があたるとか。さらに、変身処に入ればあなたも忍者仲間入り。市内は風船の刀をふりまわす、やんちゃなちびっ子忍者でいっぱい！自分も変身したい！というお父さん。もちろん、大人も変身できます。お父さん忍者、お母さん忍者、さらには忍者犬まで。そんな町中で、忍者としての腕を試す「弓矢道場」を発見。ほかにも「吹き矢道場」「手裏剣道場」などがあり、それぞれ「上忍級」から「下忍級」まで忍者としてのレベルが試されます。上忍級者には手裏剣がもらえます。当イベントは毎年実施されています。あなたも体験してみては！



忍者発見！



集中力が勝負。弓矢道場



駅前吹き矢道場♪



藤堂高虎の足軽大将、赤井家住宅では、知恵を試すパズル道場が。



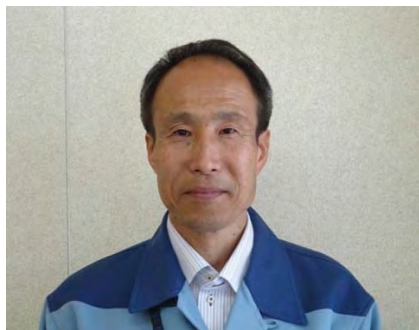
兵庫から来られたという、くの一軍団。この方は「中忍級」でした

【総務課 谷村正子】

新任管理職紹介



福岡県内のダム事務所から転勤してきました。ダム本体の早期着手に向けて鋭意努力してまいります。副所長（技術）松岡義幸



川上ダムの早期完成に向け、契約・総務等の事務的側面から微力ながら全力で取り組む所存です。総務課長 大西誉朗



地域に愛されるダムとなるよう、安全第一で工事を進めます。お気づきの点はお知らせ下さい。工事課長 濱口 浩

新規採用職員紹介

今年4月、当建設所に6年ぶりに新規採用職員が着任しました！期待の新人をご紹介します。

今年の4月に水資源機構に入社し、当建設所に配属されました八重樫知宏と申します。仙台で生まれた後、20年以上千葉県で暮らしていましたが、このたび初めて三重県にまいりました。生まれて初めての一人暮らしで身の回りの変化はとても大きいですが、せつかく新しい環境で暮らすこととなりましたので、この機会に地域の料理や文化などを色々体験してみたいと考えています。仕事では学ぶべきこと、覚えるべきことも多々あり忙しい日々ですが、川上ダムの完成に向けて頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第二用地課 八重樫知宏



本誌に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層楽しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本誌に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課 TEL 0595-52-1661 Mail somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

イベントのお知らせ

ほたる祭り

開催日 平成28年6月11日(土)
開催場所 博要の丘（博要地区市民センター）
問合せ先 博要地区市民センター
TEL 0595-55-2004

ほたと音楽の夕べ

開催日 平成28年6月11日(土)
開催場所 常福寺・北川堤防（伊賀市古郡地内）
問合せ先 神戸地区市民センター
TEL 0595-38-1300

編集後記

新緑が輝き、ドライブやお散歩が楽しみな季節となりましたね。先日、青山高原に行きましたが、つつじが咲いて、とてもきれいでした！

【広報誌発行事務局】

編集長	加納（所長）	小谷口（工務課長）
デスク	大西（総務課長）	富士澤（第一用地課）
記者	谷村（総務課）	八重樫（第二用地課）
	山本（調査設計課）	清水（環境課）
	小野（工務課）	